

【Worksheet データ呼び出し時におけるエラー表示の対処方法】

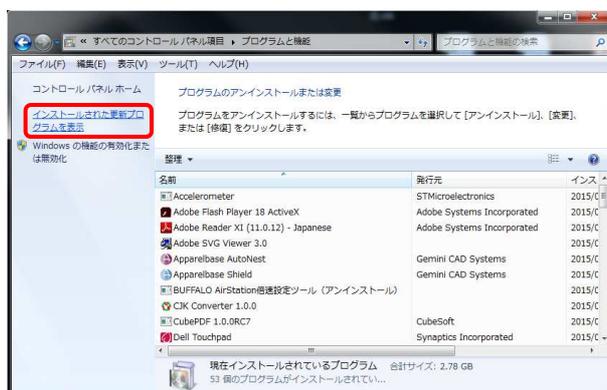
2015年8月11日にマイクロソフトより公開されました Windows 用のセキュリティ更新プログラム **【KB3078601】**を適用したパソコンにおいて、弊社ソフトウェア「Worksheet」で下記エラーメッセージが表示されて一部のデータ編集が出来ない現象が発生しております。



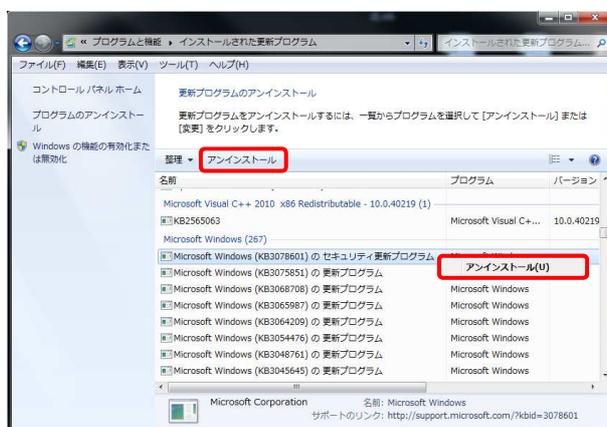
下記手順にて該当する更新プログラムをアンインストールし、今後適用しない設定をすることで現象を一時的に回避できることを確認しておりますので、参考にしていただければと思います。

※ここでは Windows 7 にてご説明いたします

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックして開きます。
2. 「プログラムのアンインストール」もしくは「プログラムと機能」をクリックして開きます。
3. 左側の「インストールされた更新プログラムを表示」をクリックします。



4. 「Microsoft Windows (KB3078601)のセキュリティ更新プログラム」をアンインストールします。



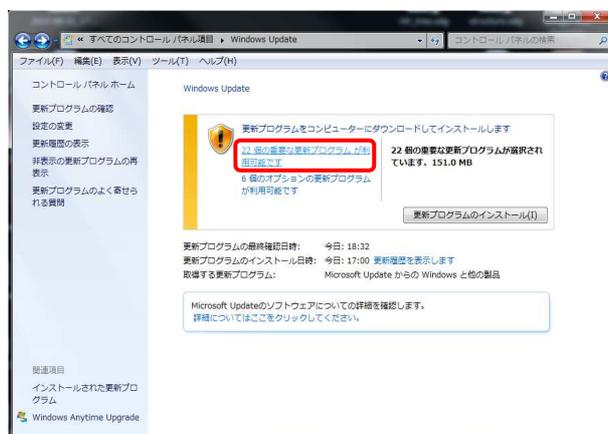
- アンインストール完了後、パソコンを再起動します。
- パソコン再起動後、スタートメニューの「すべてのプログラム」より「Windows Update」をクリックして開きます。
- 左側の「更新プログラムの確認」をクリックします。



- 更新プログラムの確認を実行しますのでお待ちください。
※パソコンやネットワークの環境にもよりますが、20分以上かかります



- 「〇〇個の重要な更新プログラムが利用可能です。」をクリックします。

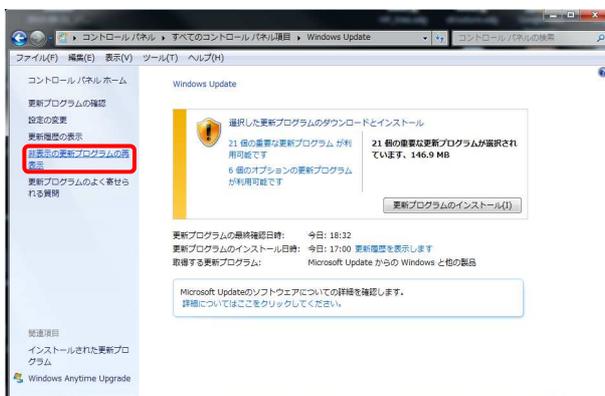


10. 「Windows Update」で「Windows Update用セキュリティ更新プログラム(KB3078601)」を右クリックして、メニューを表示させて「更新プログラムの非表示」を選択します。



11. [OK]をクリックして Windows Update の画面に戻ります。

12. 左側の「非表示の更新プログラムの再表示」をクリックします。



13. 下記のように「Windows Update用セキュリティ更新プログラム(KB3078601)」が表示されていることを確認します。



14. 通常通り Worksheet を起動していただき、問題ないことをご確認ください。

以上